吉野作造記念館だより

第29号
2020年4月
～
2021年3月

『ケロッキーブーとおおきなあな』
作：ＮＰＯ法人古川学人
絵：菅原暢子（吉野作造記念館職員）
（あらすじ）ケロロ、ウッキー、ブーカはとってもなかよし。ある日、森のなかであそんでいると、大きな穴を発見しました。さてこの大きな穴をどうしようかと話すうち、けんかがはじまって…

ケロロ　ウッキー　ブーカ　サクゾウさん

「親子で選挙に親しむ」主権者教育のための絵本

『ケロッキーブーとおおきなあな』出版決定!!

「親子で選挙に親しめる絵本をつくり、未来の有権者を育てる」というテーマで行ったクラウドファンディングは、目標額を大幅に上回るご支援をいただき、プロジェクト成立となりました！
ご支援をいただいた皆様に心より御礼申し上げます。

NPO法人古川学人「3つの作造<つく>る」 未来づくり ―次世代育成―

11月1日～29日

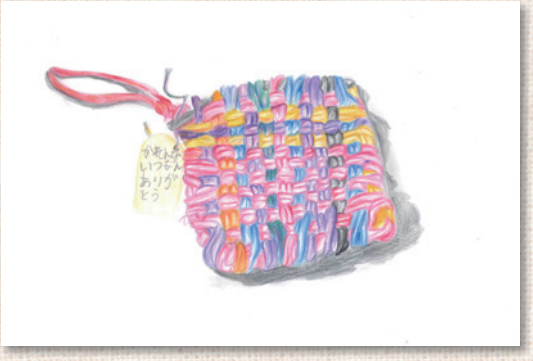
おおさき芸術コンクール　チャリティ展覧会

（宮城県共同募金会「みやぎチャレンジプロジェクト」助成事業）

大崎市の小・中・高校、支援学校の生徒を対象に「おおさき芸術コンクール」「自由研究コンクール」を実施。11月にはご応募いただいた計44作品でチャリティ展覧会を開催しました。作品をつくって出品することで、困っている人たちをたすけようという企画です。

↑　絵画の部（小学生）　最優秀賞
「私の大切な場所」
加藤颯華さん（古川第三小4年）

↑　写真の部　最優秀賞
「ゴマダラカミキリみいつけた!」
鈴木比奈子さん（古川黎明中1年）



←　絵画の部（中学生）最優秀賞
「コースター」
清野佳蓮さん（古川東中1年）

※自由研究部門は応募がありませんでした。

展示会場で募金活動を実施し、総額3万円を新型コロナウイルス感染症対策のために大崎市に寄附しました。（1月29日）

表彰式（11月22日）。最優秀賞のほか、優秀賞4作品、理事長賞1作品が選出。

学校巡回パネル展

宮城県教育委員会が進める「みやぎの志教育」など、郷土の先人の学校教育での活用を支援するため、吉野作造の業績やエピソードを紹介するパネル展「わたしたちの先輩・吉野作造」を大崎市内の小・中・高校で開催しています。

古川工業高校での展示
（10月23日）

古川学園中学・高校での展示
（8月25日～10月16日）

ご挨拶

吉野作造記念館
館長　氏家　仁

吉野作造記念館は開館26周年を迎えました。新型コロナウイルスの感染拡大という未曽有の困難な状況の中、市民ならびに利用者の皆様には、この1年の間感染対策や入場制限などへのご理解・ご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

あの東日本大震災の発生から10年―記念館を運営するＮＰＯ法人古川学人では、この節目の年に新たな歩みを始めるため、昨年2つの募金へのご協力を皆様にお願いいたしました。一つは「将来を担う子どもたちの社会性を育てる」というテーマで参加した宮城県共同募金会の「みやぎチャレンジプロジェクト」、もう一つは主権者教育（シティズンシップ教育）のための絵本出版のクラウドファンディングでした。どちらも目標額を大幅に上回る多大なご支援をいただきました。心より感謝を申し上げます。記念館は震災後のこの10年、展示・研究活動、市民サービスの充実に加え、広く館内外で社会教育、主権者教育に取り組んで参りました。皆様から寄せられた多くのご支援は、こうしたこれまでの取り組みへのご評価、かつ今後のさらなる発展に対する大きなご期待だと理解しております。

この1年間は、コロナ禍の中で自分たちにできることを模索する日々でした。緊急事態宣言解除後から段階的に講座などの行事を再開し、またウェブ上での電子展覧会、コロナ対策のためのチャリティをテーマとした芸術コンクールなど、記念館にお越しいただけない状況でもご利用いただける行事を充実させることに努めました。今年は、皆様にご協力いただいた支援金により、主権者教育のための絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』を刊行予定です。文・絵ともに記念館職員による手作りですが、大変読みごたえのある絵本になったと感じております。ケロロ・ウッキー・ブーカという3匹の愛らしいキャラクターたちと共に、ご家庭で楽しく選挙、そして民主主義を学んでいただき、将来の立派な主権者を育む一助としていただくことを願ってやみません。

新たな四半世紀を目指す旅が始まりました。これまで以上に充実した展示、時宜にかなったテーマでの講演会・講座をはじめ、子どもからお年寄りまでが「集い、学び、つながり、そして、楽しめる」イベントを実施して参ります。さらに絵本も活用した主権者教育事業を通し、社会の課題について学び向き合う子どもや若者の育成に努めて参ります。

吉野作造記念館は市民の熱い希望と期待を受けて開館しました。記念館が成長するには、市民の声が大切です。ぜひ皆様の声をお聞かせください。展示観覧やイベントだけでなく、各種サークルなどの活動場所としてなど、お気軽にご利用いただきたくお願い申し上げます。

記念館はこれからも、吉野作造の業績、思想と行動を伝えると共に、市民が学び、活動できる場を提供して参ります。吉野が人間の自由と人格を重んじ、民主主義、国際平和、文化的生活を追い求め、社会に貢献しながら理想とする社会の実現に取り組んだことに鑑み、第2・第3の吉野作造の輩出を目指して参ります。

皆様からのご期待に応えられるよう取り組んで参りたいと存じますので、今後ともご理解・ご協力を切にお願いいたします。

トピックス（新型コロナウイルス関連）

7月29日 吉野作造記念館電子展覧会　公開スタート!

⇒ https://www.yoshinosakuzou.info/blank-16

中止となった前期企画展に代わり、当館ウェブサイト上にて記念館の所蔵資料から吉野作造の生涯をたどる「宮城・大崎の先人吉野作造」（左）、児童向けの「わたしたちの先輩・吉野作造」（右）の2つの電子展覧会を公開しました。自由研究、吉野作造検定の予習などにもどうぞ。

吉野作造記念館の新型コロナウイルス対応

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言および大崎市教育委員会の対応方針に基づき、当館も2020年3月3日～5月11日の期間、展示室を閉鎖し、一切のイベントを中止いたしました。2021年4月1日現在も一部施設の利用などに関し制限を設けています。利用者の皆様には多大なご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力の程お願い申し上げます。

2020年5月以降の主な対応

アクリル板の設置（研修室・講座室）

座席の間隔確保（研修室・講座室）

消毒の徹底（出入口ほか）

入館時の検温と連絡先等の記入（受付）

トピックス（2020年7月～10月）

7月29日
歴史講座

災害と向き合う人々

―災害はどう伝えられたか―

講師：後藤 彰信 氏
（柴田町文化財保護委員）

1923年の関東大震災をテーマに、報道を通じて災害が被災地域の人々の体験から、社会の共通体験となっていく過程を史料からみていくという講座。緊急事態宣言解除後初の当館主催事業となりました。

※2020年3月7日に予定されていた前年度歴史講座第2回の内容です。

9月27日
歴史講座

県庁所在地時代の登米について

―みやぎの明治村を探る―

講師：後藤 悦雄 氏
（登米市文化財保護委員）

登米市登米町は明治初頭、旧水沢県の県庁が置かれ、旧水沢県庁舎や登米小学校旧校舎など、貴重な明治時代の建築が現在まで数多く残っています。本講座では、建築遺構からみる明治時代の登米についてお話いただきました。

10月～11月
基礎講座

吉野作造の文章を読んでみよう

読みやすい文章を中心に、吉野作造の原著を読む全4回講座。前半2回は佐藤学芸員による吉野の直筆原稿を読む講座、後半2回は氏家館長による、中国に滞在していた時期の吉野の随筆を解説する講座でした。

10月14日

石巻文化探訪バスツアー

東日本大震災から10年を迎える石巻市の歴史と復興をたどるバスツアー。津波被害を受けた宮城県慶長使節船ミュージアム（サンファン館）、震災直後、壁新聞として発行された『石巻日日新聞』を展示している石巻ニューゼなどを見学しました。

企画展＆関連イベント（後期）

1月17日～3月28日
後期企画展

災害と復興のおおさき近現代史

後援：大崎市　大崎市教育委員会

東日本大震災から10年を前に、地震、火災、風水害、伝染病など様々な災害に、日本そして大崎の先人がどう向き合ってきたのか、郷土をどのように復興し、次世代に引き継いできたのかを、記念館所蔵の地域資料からたどる展示でした。

大崎市内に残されていた、100年前のスペインかぜの猛威を伝える書簡。

近代の災害や、上水道敷設、消防組など住民の取組みを写真と史料で紹介。

関東大震災を契機に始まった明治文化研究会の資料収集・保護活動。

記念館がある旧荒雄村から送られた、関東大震災の支援物資の木札。

〈企画展関連イベント〉
2月18日
防災ワークショップ

日ごろの備え大丈夫!!

『聞いて・作って災害に役に立つ』

講師協力：社会福祉法人
大崎市社会福祉協議会古川支所

防災に役立つ知識を楽しみながら身につけてもらうためのワークショップ。「災害時に自分ならどうするか」を考え伝えあうゲーム形式の防災教材「防災クロスロード」の体験、キッチンペーパーを使ったマスク、新聞紙を使ったクッションやスリッパといった、身近なものを活用した簡単な災害対応グッズづくり体験などを行いました。

災害時に必要な物を当てる「防災ビンゴゲーム」

2月28日
講座

地域の文化財を災害から守る

―東日本大震災後の歴史資料レスキュー―

講師：佐藤 大介 氏
（NPO法人宮城歴史資料保全ネットワーク事務局長）

被災した歴史資料の救出・保護などに取り組むNPO宮城資料ネットの佐藤大介氏をお招きし、お話をいただきました。佐藤氏は2011年の震災後にも当館主催のシンポジウムにご参加いただいています。今回の講演はその後現在まで10年間の取り組みもふまえたものでした。

間仕切り用テント、段ボール製簡易ベッドなど実際に災害避難所で使われる用具を展示

宮城資料ネットが震災後に被災地から搬出した個人蔵の史料は83件、記録された文書は60万ファイル、ボランティアの延べ人数は8044人にもなりました。一方、民間所在史料の被害の全容が現在も把握できないこと、被災した史料を保管するための施設新設がゼロであるなど、課題は多いと佐藤氏は語ります。

日本の民間所在史料は世界でも稀に見る規模であるとされます。こうした史料を救出・保護していくことは、復興への心のよりどころ、史料を核とした人々のつながりの形成など、被災者への「心理社会的支援」の意義も大きいことを佐藤氏は指摘し、保護のための持続的な活動によって史料と市民の関係が生まれ、歴史が受け継がれていくことを強調しました。

3月14日・28日
講座

関東大震災、社会を揺らす

講師：後藤 彰信 氏
（柴田町文化財保護委員）

1923年（大正12）の関東大震災が日本社会にどのような影響を与えたかを見ていく2回講座。第1回は「関東大震災の流言蜚語」というテーマで、震災時のデマが発生した過程と、人々の行動に与えた影響を見ました。第2回「関東大震災後の社会」は、被災体験が意味づけられていく過程を「天譴論」を軸に追う内容でした。

2月～3月

吉野作造検定

4回目となった吉野作造検定。今回はコロナウイルス感染対策のため、2月～3月の間で各受験者の皆様に受験日を任意で選んでいただく形で実施しました。また、電子展覧会など、受験日以外でご来館が難しい方向けに、予習のためのコンテンツを用意しました。

初級：受験者2名、合格者2名
中級：受験者6名、合格者5名
上級：受験者3名、合格者2名
※古川工業高校116名は除く

検定前講座（1月31日）
中級・上級受験者向けの特別講座。

吉野作造検定に高校生がチャレンジ！

古川工業高校1年生116名の皆さんが、初級に挑戦しました！（3月17日）

NPO法人古川学人へのご支援・ご協力のお願い

**ＮＰＯ法人古川学人（吉野作造記念館指定管理者）は、
吉野作造のデモクラシーの理念を継承し、
市民一人一人の力による民主主義社会の発展に貢献します。**

ＮＰＯ法人古川学人がめざすもの～３つの作造（つくる）る～

人づくり
―主権者教育―
⇒ P10

将来の有権者である青少年の政治教育・選挙教育に取り組みます。

- 高等学校等での主権者教育・代理投票の啓発
- 高校生デモクラシー塾
- 子ども投票体験
- 親子で選挙に親しむ絵本の作成

街づくり
―市民社会育成―
⇒ P11

一人一人の市民が主役になる地域社会の担い手育成に取り組みます。

- おおさき社会貢献大賞
- 吉野作造フェローシップ
- 芸術・文化振興事業
- 市民交流事業

未来づくり
―次世代育成―
⇒ P2,P11

未来社会の主役である子どもたちの社会教育・文化教育に取り組みます。

- 吉野作造記念弁論大会
- 自由研究サポート
- 大崎市学校巡回パネル展
- 教育支援事業（NPO法人Synapse40への協力）
- 健康増進事業（NPO法人ハッピィート大崎との共催）

主権者教育のための絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』出版決定！ご協力ありがとうございました

「親子で選挙に親しめる絵本を制作し出版する」ことをテーマに、ウェブサイト「READYFOR」で2020年9月に行ったクラウドファンディングは、総勢179の個人・団体の皆様から目標額を大幅に上回る2,340,000円（CF期間終了後の寄附も含む）のご支援をいただき、プロジェクト成立となりました。

子どもの頃に親の投票に同行した経験のある人は、有権者になってから投票率が高いという調査もあり、家庭や地域での主権者教育の習慣化が重要です。吉野作造記念館では、職員によるオリジナル人形劇を通じて選挙や投票を学ぶ「親子で楽しむ子ども投票体験」イベントを開催し、ご好評をいただいてきました。人形劇をベースとしたこの絵本をご家庭でお子さんに読み聞かせ、楽しく選挙（みんなの意見で決める）の大切さを学ぶことを習慣化してもらい、未来の有権者を育んでほしいと願っています。

刊行は2021年7月を予定しています。

社会課題解決「みやぎチャレンジプロジェクト」ご協力ありがとうございました！

宮城県共同募金会（赤い羽根共同募金）による「みやぎチャレンジプロジェクト」は、さまざまな社会課題の解決にとりくむ県内の団体が、活動PRと活動資金の寄附募集を行うものです。

NPO法人古川学人では令和2年度に続き「博物館を子どもたちの社会性を育む拠点に」をテーマに同プロジェクトに参加し、令和2年12月1日～3年2月28日の募集期間に716,430円のご寄附を頂きました。今後も地域、社会、未来のため取り組んで参りますので、ご協力をお願い致します。

御礼

吉野作造記念館指定管理者
特定非営利活動法人古川学人
理事長　佐藤　俊明

NPO法人古川学人理事長の佐藤俊明でございます。皆様におかれましては、平素より当法人へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

当法人では昨年度、吉野作造記念館開館25周年記念事業として「親子で選挙に親しみ、未来の有権者を育てる絵本の製作・出版」を企画し、クラウドファンディングによる募金活動を行いました。その結果多くの皆様より目標額を大幅に上回るご支援を頂戴し、予定通り本年中に出版の運びとなりました。また同じく昨年度より宮城県共同募金会の「社会課題解決『みやぎチャレンジプロジェクト』」に、「記念館を社会教育の拠点として、将来を担う子供たちの社会性を育てる」というテーマを掲げて参加しています。こちらも多くのご支援を賜り、コロナ禍でままならない部分はありましたが、「チャリティ芸術コンクール」など新たな事業をスタートできました。このプロジェクトは本年度以降も継続して参りますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

クラウドファンディングのように顔の見える範囲を越えてご協力を呼びかける活動は、私どもにとって新たな挑戦でもありました。結果として予想よりもはるかに多くの方々からご支援をいただき、はるかに大きなご期待が記念館そして当法人に寄せられていることを知ったのは、望外の喜びと申し上げるよりほかありません。支えていただいている企業ならびに個人の皆様も、コロナ禍の中で先行きの見え難い大変な状況下にも関わらず温かいご支援を賜りましたことに、重ねて深く御礼申し上げます。

どんな困難な環境下でも「利他の心」を大切にし活動した吉野作造博士のご遺志を心に期して、市民のための「民主主義の学びの場」をつくるという当法人の活動理念は揺らぎません。皆様のご理解ご協力によって私どもの活動は支えられております。どうぞ今後とも変わらぬご高配の程よろしくお願い申し上げます。

○ NPO 法人古川学人にご寄附いただいたみなさま（2020年4月1日～ 2021年3月31日）

東出　光世　様　松田　茂　様　髙橋　利昭　様　宮﨑　継雄　様　岡本　泰彦　様
黒田　英雄　様　秋山　真一　様　長尾　資　様　二郷　成子　様　岩佐　弘一　様
佐藤　廣善　様　横山　寛勝　様　平野　博　様　古内　毅　様　諸岡　敏裕　様
永澤　汪恭　様　吉村　敏之　様　松田　美宏　様　瀧田　典子　様
氏名非公表ご希望　12件

合計　136,000円

○「みやぎチャレンジプロジェクト」にご寄附いただいたみなさま（2020年12月1日～ 2021年2月28日）

団体　株式会社リフレッシュかむろ　様　株式会社古川土地　様　株式会社大崎グリーンエナジー　様
株式会社アクアライト台町　様　古川ガス株式会社　様　吉野先生を記念する会　様
特定非営利活動法人ハッピィート大崎　様　茶房クレイン　様
個人　髙橋　利昭　様　三塚　義信　様　佐々木公明　様　武藤秀太郎　様　二郷　成子　様
髙橋　久之　様　佐藤　俊明　様　氏家　仁　様
氏名非公表ご希望　9件（3団体・6個人）

合計　716,430円

○絵本『ケロッキーブーとおおきなあな』出版クラウドファンディングにご協力いただいたみなさま

個人・団体　179件

合計　2,340,000円

※クラウドファンディングへご協力いただいたみなさまのお名前は、絵本巻末に紹介されます。

ご寄附のお申し込み・お問い合わせ
吉野作造記念館　☎　0229-23-7100　Fax　0229-23-4979　Mail　yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp
記念館ウェブサイト（NPO 事業について）
https://www.yoshinosakuzou.info/npo-2（寄附フォームへのリンクがあります）

NPO法人古川学人「3つの作造<つく>る」 人づくり ―主権者教育―

高等学校向け特別授業・出前講座

選挙権の拡大と国民の政治意識の向上は、吉野作造の生涯のテーマでもありました。記念館では県内の高等学校などと協力し、選挙権拡大の歴史や、選挙を通じて政治に参加することの意義を学ぶ主権者教育を行っています。2020年度は3校で授業を行いました。

泉館山高等学校2年生（11月20日）

仙台第三高等学校2年生（3月17日）

古川学園高等学校3年生（12月4日・8日）

12月13日 明るい選挙推進協会 若者リーダーフォーラム

主催：公益財団法人明るい選挙推進協会
共催：総務省

公益財団法人明るい選挙推進協会が主催する「若者リーダーフォーラム（北海道・東北ブロック）」が、吉野作造記念館を会場に開かれました。平成31年の統一選、令和元年の参院選で示された、若者の投票率のさらなる低下傾向を踏まえ、博物館・NPO法人による主権者教育の取り組み事例を学び、若者に対する常時啓発事業の図ることがテーマです。

吉野作造記念館の氏家仁館長、小嶋翔主任研究員が「博物館施設を活用した主権者教育―地域社会・公教育との連携―」をテーマに講演したほか、選挙啓発活動の現状報告、意見交換会なども行われました。コロナ禍の影響で小規模の開催ながら、選挙啓発に取り組む学生団体なども参加し、活発な議論と交流が行われました。

小嶋研究員は、特別支援学校や幼児向けの主権者教育の実践に関する成果と課題などを報告。

氏家館長は、博物館・記念館を主権者教育に活用する意義、学校との協力などについて報告。

NPO法人古川学人「3つの作造<つく>る」 街づくり ―市民社会育成―

1月31日

吉野作造生誕記念イベント

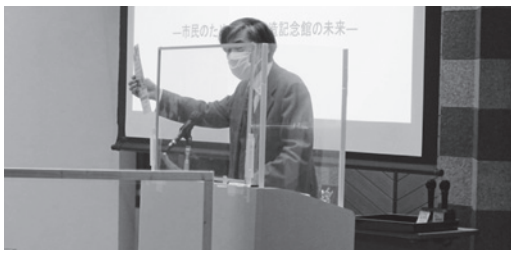
今年度のイベントでは、氏家仁館長による「吉野作造の思想と活動の可能性」と題した記念講演に続き、「第3回おおさき社会貢献大賞」表彰式が行われました。この賞は、より良い社会を目指す若者の活動を顕彰することを目的に設けられているもので、2020年度は4組の応募があり、厳正な審査を経て各賞が選ばれました。

おおさき社会貢献大賞 最優秀賞

「マスク製作ボランティア」

宮城県松山高等学校家庭クラブ1～3年生30名

松山高校家政科の生徒によるクラブ。コロナ禍によるマスク不足をみて、地域のため布マスクの製作と寄贈を決める。作業は臨時休校明けの6月より週1～2回のペースで行い、着け心地などにも配慮しつつ作成。寄贈先は家政科被服コースの作品展会場でもある鳴子の玉造荘、松山放課後児童クラブ、ほか希望のあった企業など。現在保育実習先の保育園への寄贈のため製作作業を続けている。



館長講演「吉野作造の思想と活動の可能性
―市民のための吉野作造記念館の未来―」
吉野作造の思想と活動を現代に継承し発展させるための記念館の取り組みと今後の可能性を述べました。

最優秀賞

「マスク製作ボランティア」

宮城県松山高等学校家庭クラブ1～3年生30名

《講評》新型コロナウイルスの感染拡大とマスク不足という社会全体のニーズをいち早く察知して、家庭クラブ全体に呼びかけて、自分たちの学習成果を社会に還元しようという志をもって、マスクを製作し、近隣、関係する団体や機関に届けました。この一連の継続的な取組は、社会に明るい兆しや元気を与えています。高校生の取組は周囲をも巻き込んでいることから、社会的な繋がりをもたらしており、大変高く評価でき、今後についても新しい取組に続くように大いに期待したいところです。

優秀賞

「台風19号ボランティア」

古川学園高等学校硬式野球部40名

《講評》地震、台風、大雨といった自然災害が続く中、今回の台風19号災害でのボランティア活動で、困っている人たちに寄り添い、「地域の力になりたい」という志をもって片付け作業に尽力したことは、多くの被災者のみならず、社会全体への力強い励ましになりました。硬式野球部で培った体力やチームワーク、スポーツマンシップや思い遣りの気持ちを発揮したことは、他の高校生のみならず、多くの市民に、これからのボランティア活動を考えるヒントになりました。大いに評価でき、今後の活躍に期待します。

奨励賞

「わたしたちにできること ～スマイルプロジェクト～」

大崎市立古川第五小学校6年生147名

《講評》小学校6年生が下級生をリードする模範的な取組として、被災地域が笑顔になってもらいたいという「スマイルプロジェクト」をテーマに、総合学習の中で語り合い、活動を話し合った結果、熊本県の豪雨災害支援募金をしようという志と募金収集の活動は、小学生の災害ボランティアとして他者への思い遣りの精神は多くの市民の心を打ちました。市役所に届けたことは社会貢献活動として大いに評価でき、今後にも期待します。

努力賞

「動物愛護ボランティア」

大崎市立古川中学校　3年生　若見 桃花 さん

《講評》捨て猫の殺処分ゼロの活動は全国的にも多く取り上げられるようになりました。新型コロナウイルス感染拡大という状況での制限された中での活動ではありましたが、困難な課題に個人で挑戦する志は立派で評価に値します。社会貢献活動としての目立った実績や成果にはなかなか繋がりませんでしたが、今後、コロナ禍という新しい世界、時代において、多くの人々や機関との繋がりを改めて作り直していく挑戦的な取組に大いに期待します。

NPO法人古川学人「3つの作造くつくる」 未来づくり ―次世代育成―

12月11日

第2回 吉野作造記念弁論大会

（第7回 宮城県高等学校弁論大会）

主催：宮城県高等学校文化連盟
共催：宮城県教育委員会　NPO法人古川学人
主管：宮城県高等学校文化連盟弁論専門部
後援：大崎市教育委員会　河北新報社　大崎タイムス社

今年度も吉野作造記念館を会場に宮城県高校生弁論大会が開催され、9校13人の高校生たちが熱弁をふるいました。

吉野作造特別賞「生命の都を守る」
中川守都さん（宮城農業高校2年）

最優秀賞「自分らしく生きる」
井崎英里さん（仙台二華高校2年）

優良賞「困難を乗り越えて」
齋藤大輝さん（加美農業高校2年）

優秀賞「『他人事』から『自分事』へ」
髙橋菜乃花さん（築館高校2年）

その他弁士・演題

三品美紅さん（宮城農業高校2年）
「もっと寒くなれ！」
葛西祐依さん（聖和学園高校2年）
「想いは手紙で」
二瓶瑠優奈さん（小牛田農林高校1年）
「大切な人への感謝」
佐々木理人さん（古川学園高校2年）
「変わらない温かさで」
福島七海さん（小牛田農林高校2年）
「平等な目を持つ」
藤原瑞姫さん（築館高校1年）
「あなたの言葉に責任を」
松岡恋乃美さん（柴田農林川崎校1年）
「部活動で学んだこと」
天野拓朗さん（角田高校2年）
「人の役に立つこと」
市川七海さん（角田高校2年）
「名もなき家事に気付くこと」

《講評》今回は、新型コロナウイルスの影響による社会の変化や、情報化社会における人間関係のあり方など、現代の世相を反映した弁論が多かったことが特徴でした。中でも、コミュニケーションのあり方が多様化していることに関して、インターネットやSNSを通じたコミュニケーションの問題点について論じたもの、言葉そのものが持つ力について考察したもの、あるいは自死の問題に踏み込んだものなど、弁士の皆さんが日頃考えていること、疑問に思っていることをそれぞれの観点から論じてくれました。総じて今大会は、言葉の大切さについて改めて考える機会になったものと思います。〈中略〉

最優秀賞「自分らしく生きる」（井崎英里・宮城県仙台二華高等学校二年）は、自身の障害を「個性」と見て「自分らしく生きる」という姿勢を論じ、特に日常の何気ないやりとりの中に潜んでいる様々な言葉の力について深く考察した点が評価されました。優秀賞「『他人事』から『自分事』へ」（髙橋菜乃花・宮城県築館高等学校二年）は、介護を家庭内の問題にとどめず、学校や地域での学習活動に結びつけながら広い視野で考察し、それを同世代の高校生に対する呼び掛けとして表現した点が評価されました。優良賞「困難を乗り越えて」（齋藤大輝・宮城県加美農業高等学校二年）は、自身の障害を逆手にとり、行き詰まった時こそ逆に好機と見て、自身の学びの機会としたり、将来の職業を展望したりするという考察の深まりが評価されました。

最後に吉野作造特別賞「生命の都を守る」（中川守都・宮城県農業高等学校二年）ですが、この賞は大正デモクラシー運動における世論のリーダー・吉野作造の精神にちなみ、民主主義、人権問題、地域貢献、国際平和など、社会的・人類的広がりを持つテーマに取り組んだ弁論に対して特に贈られます。今回はNPO活動の実践から将来社会を具体的に展望したことが評価されました。

表彰されなかった弁士の皆さんも、いずれも内容の充実した弁論でした。今後もこうした機会に積極的にチャレンジするとともに、今後の高校生活、またその後の人生に役立てて欲しいと思います。

（氏家　仁・審査員長）

学芸部トピックス

6月2日・12月2日 常設展示室展示替え

吉野作造記念館では、年に二回、常設展示資料の入替を行っています。写真は12月から展示している吉野作造色紙「先王克謹天戒」。展示室入口すぐのレリーフになっている吉野直筆の書ですが、今回はその原典資料を展示しました。ぜひ見比べてみてください。

資料調査

10月29日　後藤新平記念館
2月26日　橋場氏宅（古川稲葉）

企画展オンライン音声ガイド

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、企画展「災害と復興のおおさき近現代史」では、お客様ご自身のスマートフォンで聴くことができる「オンライン音声ガイド」を試験導入しました。

第7回 吉野作造研究賞

吉野作造記念館では、吉野作造が終生後進の育成に取り組んでいたことに鑑み、若手研究者の育成・奨励を目的とした研究賞を設けています（隔年）。厳正な審査の結果、第7回の審査結果は次の通りとなりました。なお、最優秀賞の贈賞式・受賞者講演会は2021年秋を予定しています。

最優秀賞

●熊谷英人『フィヒテ「二十二世紀」の共和国』（岩波書店、2019年2月）

●古田拓也『ロバート・フィルマーの政治思想―ロックが否定した王権神授説』（岩波書店、2018年8月）

優秀賞

●渡部亮「「大正デモクラシー」の政党化構想のゆくえ―社会民衆党の「議会主義」に注目して」（『史学雑誌』2019年8月）

●松本洵「初期議会自由党の〈党議〉―議会制度下における一体性の模索」（『国家学会雑誌』2019年10月）

研究発表・執筆活動

研究発表・講演等

●氏家仁「博物館施設を活用した主権者教育　地域社会・公教育との連携―①博物館のあり方／②高校教育との連携」（公益財団法人明るい選挙推進協会、若者リーダーフォーラム〈北海道東北ブロック〉、2020年12月13日、於吉野作造記念館）

●小嶋翔「博物館施設を活用した主権者教育　地域社会・公教育との連携―③特別支援学校対象の主権者教育／④幼児・児童対象の主権者教育」（同右）

論文・史料紹介等

●小嶋翔（分担執筆）、日本思想史事典編集委員会編『日本思想史事典』（担当範囲：「吉野作造と新人会」、丸善出版株式会社、2020年4月）

●小嶋翔「地域の博物館を民主主義の拠点に―NPO法人古川学人が主権者教育に取り組む理由」（『Voters』57号、2020年8月）

●小嶋翔「吉野作造の市民社会論と女性の社会参画―『婦人公論』の論説を中心に」（『吉野作造研究』17号、2021年4月）

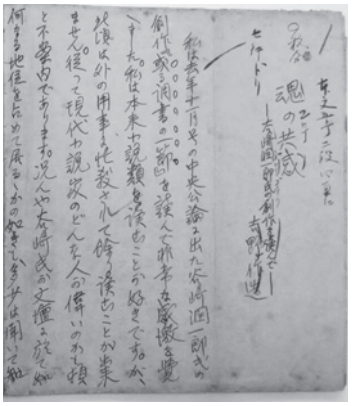
●小嶋翔「〈史料紹介〉吉野作造原稿「魂の共感」（1922年）及びその裏面―荒井陸男君渡欧後援会会員募集／賛育会婦人後援会主催観劇会」（同右）

●佐藤弘幸「未来の有権者を育てる―NPO法人古川学人の取り組みについて」（『月刊選挙：選挙や政治に関する総合情報誌』73巻10号）

●佐藤弘幸「〈史料紹介〉橋平酒造店関係資料（一）―佐々木忠右衛門関係書簡―」（『吉野作造研究』17号、2021年4月）

新収蔵資料紹介

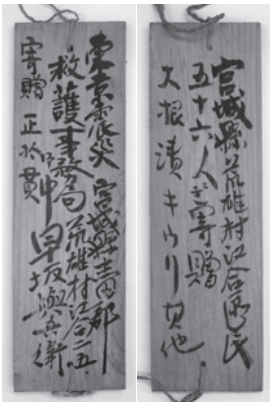
吉野作造原稿「魂の共感」（大正11年）



吉野作造が、谷崎潤一郎の小説「或る調書の一節」（1922年）への感想を記したもので、雑誌『文化生活』1922年1月に掲載されました。これまでも内容は知られていたものですが、直筆原稿は初めて入手しました。興味深いことにこの原稿は、吉野の友人の画家・荒井陸男の後援会会員募集のチラシや、吉野が理事長を務めた賛育会の事業チラシを裏紙にして書かれています。詳しくは『吉野作造研究』17号の史料紹介をご覧ください。

（2020年6月購入）

関東大震災支援物資の荷札（大正12年9月3日）



関東大震災発生から2日後の9月3日、荒雄村（現・大崎市古川江合など）の名士・早坂與兵衛と地域住民56名が支援物資を発送した際の木製荷札。與兵衛は10貫（約37・5キログラム）分の物資、住民は大根漬・キュウリ漬など日持ちのする食料を送ったようです。物資は宮城県の赤十字支部を通じて東京の震災救護事務局へ届けられました。関東大震災では東北から被災地に支援が届けられていたことを示す貴重な郷土資料です。今回、全17枚中2枚を当館へご寄贈いただきました。

（2021年2月寄贈）

令和2年度新たに当館収蔵品として登録された資料は計102点となりました。

新資料102点の目録を大崎市教委に提出（3月16日）

寄贈資料一覧（令和2年4月～令和3年3月）

- 井上ひさし『秘本大岡政談　井上ひさし傑作時代短篇コレクション』他3点……井上事務所
- 『近代仙台研究会第5回発表会報告集』……菅野　恭彦氏
- ダイヤル式電話機……大益三樹子氏
- 『宮城県の文化財～美術工芸品②書跡・典籍／古文書・古碑／考古資料／歴史資料～』……宮城県教育委員会
- 井上ひさし『井上ひさし発掘エッセイ・セレクション　社会とことば』他2点……岩波書店
- 『宮城の歴史地理教育』27号……宮城県歴史教育者協議会
- 古田義弘『仙台領に生きる郷土の偉人伝―明治・大正・昭和の人』……古田　義弘氏
- お惣菜栄養番附表（『主婦之友』18巻2号附録）……千島　優子氏
- 河上肇書幅「落葉」（贈原鼎）他1点……原　節子氏
- 『没後10年記念　井上ひさし展―とにかく書くのが楽しかった―』……市川市文学ミュージアム
- 小川荘六『心友　素顔の井上ひさし』……小川　荘六氏
- 東京府（編）『大正震災美績』他1点……後藤　彰信氏
- 1964年東京オリンピック入場券（陸上競技）他2点……菅原　一也氏
- 『Voters』No.57……公益財団法人明るい選挙推進協会
- 『社会文学』第52号……金野　文彦氏
- 伊丹信祐『キリスト教的ヒューマニスト―栗原基の生涯―』……伊丹　信祐氏
- 鈴木利幸氏旧蔵古書・雑誌・新聞　計166点……鈴木　寿郎氏
- 『北の歴史から』第2号……大平　聡氏
- 平澤庄蔵宛吉野作造書簡（1914年9月13日）他8点……斎藤　重光氏
- 『現代哲学辞典［初版］』……菅原　正則氏
- 『東京人』No.431……都市出版
- 『月刊選挙』第73巻第10号……都道府県選挙管理委員会連合会
- 後藤乾一『国際主義の系譜―大島正徳と日本の近代―』他1点……後藤　乾一氏
- 『会報』第153号他1点……東京大学学生キリスト教青年会
- 都築勉『おのがデモンに聞け　小野塚・吉野・南原・丸山・京極の政治学』……吉田書店
- 『DVD付　学研まんが　NEW日本の歴史11　大正デモクラシーと戦争への道～大正時代・昭和時代前期～』……学研プラス
- 村井良太『市川房枝―後退を阻止して前進―』……村井　良太氏
- 『新潟県中越大震災と史料保存（1）長岡市立中央図書館文書資料室の試み』他8点……長岡市立中央図書館文書資料室
- 関東大震災支援物資の荷札2枚（早坂与兵衛、荒雄村江合区民56人）……橋場　弘尚氏
- 竹中英俊、土方正志（編）『佐左木俊郎探偵小説選Ⅰ』他1点……竹中　英俊氏
- 畑毛田園懇話会資料……立花　靖弘氏
- 泉病院友の会『第19集「語り継ぐ戦争体験」』他2点……小磯　清光氏
- 『旬刊しほがま［復刻版］』……吉田　瑞生氏
- 「大正デモクラシー」再検討の会（編）『「大正デモクラシー」の総合的研究』他1点……田澤　晴子氏

2020年度の行事一覧（出前講座等を含む）

2020年		参加者数
4月15日～5月11日	新型コロナウイルス感染予防の為、館内利用制限	
6月2日	常設展示室展示替え	
7月29日	歴史講座「災害と向き合う人々ー災害はどう伝えられたかー」（講師：後藤彰信氏）	15名
7月29日	吉野作造記念館電子展覧会　公開スタート	
8月25日～10月16日	〈巡回パネル展〉古川学園中学校・高等学校	
8月31日～9月30日	絵本製作クラウドファンディング	
9月8日～9月12日	博物館実習	3名
9月10日・12日	学芸員体験（友の会会員限定イベント）	
9月27日	郷土史講座「県庁所在地時代の登米について―みやぎの明治村を探る―」（講師：後藤悦雄氏）	11名
10月14日	石巻文化探訪バスツアー	15名
10月23日	〈巡回パネル展〉古川工業高等学校	
10月27日	〈見学〉大崎市保健推進委員会	29名
10月6·11·27日・11月1日	基礎講座「吉野作造の文章を読んでみよう」全4回（講師：氏家仁館長・佐藤弘幸学芸員）	31名
11月1日～29日	おおさき芸術コンクール　チャリティ展覧会&クイズラリー	883名
11月20日	〈主権者教育〉泉館山高等学校2年生	285名
11月22日	おおさき芸術コンクール　表彰式	24名
12月1日	常設展示室展示替え	
12月4日・8日	〈主権者教育・見学〉古川学園高等学校普通科総合コース3年生	124名
12月11日	第7回宮城県高等学校　兼　第2回吉野作造記念弁論大会	43名
12月12日	NPO キッズ教育支援事業　Synapse40市民フォーラム	20名
12月13日	明るい選挙推進協会若者リーダーフォーラム（主催：公益財団法人明るい選挙推進協会）	12名
2019年12月14日～2020年12月28日	井上ひさし展2020スタンプラリー in 吉野作造記念館	4,112名
2021年		**参加者数**
1月17日～3月28日	企画展「災害と復興のおおさき近現代史」	647名
1月29·30·31日	入館無料	85名
1月31日	吉野作造検定　事前講座（講師：小嶋翔研究員）	8名
1月31日	吉野作造生誕記念イベント　第3回おおさき社会貢献大賞表彰式	32名
2月～3月	吉野作造検定	11名
2月9日	〈出前講座〉宮城いきいき学園（講師：氏家仁館長）	18名
2月18日	企画展関連防災ワークショップ「日ごろの備え大丈夫!!『聞いて・作って災害に役に立つ』」（講師協力：社会福祉法人大崎市社会福祉協議会古川支所）	15名
2月18日	〈出前講座〉仙台明治青年大学（講師：小嶋翔研究員）	42名
2月28日	企画展関連講座「地域の文化財を災害から守る―東日本大震災後の歴史資料レスキュー―」（講師：佐藤大介氏）	16名
3月14日・28日	企画展関連講座「関東大震災、社会を揺らす」全2回（講師：後藤彰信氏）	31名
3月17日	〈主権者教育〉仙台第三高等学校2年生	120名
3月17日	吉野作造検定（古川工業高等学校1年生）	116名
通年	ラウンジを活用した健康増進事業（共催：NPO 法人ハッピィート大崎）	

2020（令和2）年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいた皆さま

・宇津木浩恵様（人形劇『ケロッキーブーシリーズ』制作協力）
・高橋　憲夫様（記念館周辺の美化活動）
・パレットおおさき様（企画展音声ガイド制作協力）
・社会福祉法人大崎市社会福祉協議会古川支所様（防災ワークショップ講師協力）

心より御礼申し上げます

入館者・会場貸し出し・売上

入館者数

	有料入館者							無料入館者	総入館者合計
	一般		高校生		小・中学生		合計		
	個人	団体	個人	団体	個人	団体			
4月	7	0	0	0	1	0	8	52	60
5月	16	13	0	0	0	1	30	114	144
6月	31	7	1	0	0	0	39	117	156
7月	63	7	1	0	1	0	72	285	357
8月	61	19	1	0	0	1	82	196	278
9月	58	10	1	0	2	1	72	251	323
10月	71	7	1	0	0	0	79	260	339
11月	89	32	0	0	0	0	121	762	883
12月	45	9	1	0	0	0	55	402	457
1月	29	6	0	0	0	0	35	298	333
2月	51	8	0	0	0	0	59	309	368
3月	56	6	2	0	3	0	67	532	599
合計	577	124	8	0	7	3	719	3,578	4,297

会場使用料

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料金	0	2,100	3,780	32,208	16,992	8,064	4,534	17,016	27,480	12,576	17,016	11,064	152,830

物品販売

(刊行物販売)

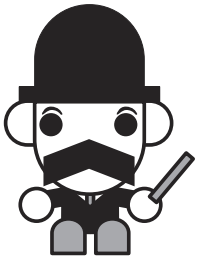
書籍名	売上
川原次吉郎編『古川余影』	2,400
吉野作造記念館編『大正デモクラシーの旗手　吉野作造』	31,680
赤松克麿編『故吉野博士を語る』	3,000
千葉真弓『蒼色の眼差し』	1,500
『吉野作造研究』(研究紀要) 創刊号～第15号	29,108
『吉野作造記念館所蔵資料目録(2012年度版)』	4,074
『東アジア文化交流叢書』　創刊号	2,037
合計	73,799

(グッズ販売)

グッズ	売上
テレフォンカード	0
ポストカード	4,500
一筆箋	8,640
クリアファイル	49,140
オリジナルコーヒー	93,060
合計	155,340
総計	229,139

メディアでの紹介：57件

8月 8日	河北新報	「わたしの『大切』表現しよう —中高生らの絵画・写真募集」
8月25日	河北新報	「ゆかいなことを東北から —井上ひさし没後10年—⑤憲法」
9月26日	朝日新聞	「民主主義の大切さ学ぶ絵本を」
12月15日	大崎タイムス	「13人が熱弁振るう 古川で県高校弁論大会」
1月18日	河北新報	「先人災害関わり知って　大崎で企画展」
2月 4日	大崎タイムス	「おおさき社会貢献大賞 最優秀賞に松山高家庭クラブ」

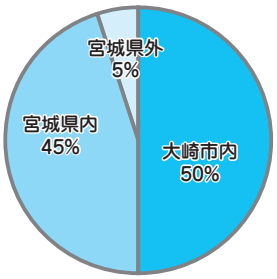


2020年度 アンケート集計結果

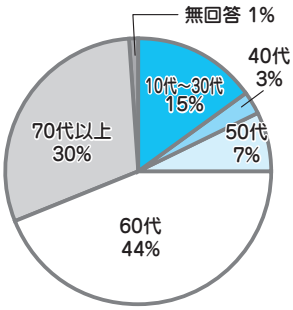
2020（令和2）年度に実施したアンケート内容の一部をご紹介いたします。
当館では常時ご意見・ご感想等を受け付けておりますので、お気軽に声をお寄せください。

●集計数 **86名**　（内訳：企画展、講座、各種講演会）　※2021年3月31日時点

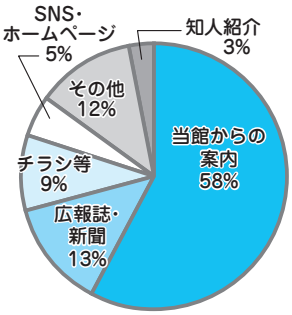
お住まいはどちらですか？



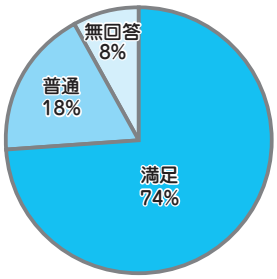
年代を教えて下さい。



催事情報を何で知りましたか？



内容について。



お客様からのご意見・ご要望および改善・対策　※抜粋

●東日本大震災より10年の今こそ、時宜を得た講座だった。やはり歴史的な検証を通して（特に公的な検証）今後の防災を考えたい。……（歴史講座→ P5）

●栗原市の高清水に住んでいますが、地元の歴史をよく知らないことが残念です。このような講座がもっとあったらいいですね。……（郷土史講座→ P5）

●吉野の文章に触れ、その考え方を学ぶ機会を嬉しく思います。文章の漢字は難しい語句があり、辞書を引きながら読みました。知ることは楽しいものです。ありがとうございました。……（基礎講座→ P5）

●生徒の頑張りを評価してくれる場があると励みになります。コロナ対策もしっかりされていてよい会場だと思いました。……（生誕記念イベント・社会貢献授賞式→ P11）

●館長さんの講話は分かりやすく、大変良かったです。広く深く知識を得ることができます。……（生誕記念イベント→ P11）

●楽しく学べる企画だった。防災クロスロードは色々な面で考えられてよかったです。……（防災ワークショップ→ P6）

●歴史資料は災害が起こる度に失われる危険性がある。消滅の不安が消えないことがよくわかりました。古き資料を保存する社会が、今後各地で生まれたら、今までの苦労が役立つと思う。このような活動は大切ですね。……（企画展関連講座→ P6）

●映像で吉野作造の思想の作られ方が見られて、よかった。今私たちの平和の基盤がこうして作られたのですね。……（常設展示室）

●古川近辺に吉野作造記念館の場所の標識が少し足りないです。

☞ご不便をおかけいたしております。市などと協議の上対応を検討いたします。

●トイレの照明が暗くて怖い。

☞申し訳ございません。入口照明を明るいものに交換をいたしましたが、施設の構造上これ以上の改善は難しいと思われます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

●常設展示室の映像にキャプションを入れてはどうですか。聞くだけでは意味を誤解する方もいるのではないでしょうか。

☞常設展示室映像は本来、中央スクリーン上段の壁3面に本編映像とは別に字幕等が映る仕様でした。しかし2011年の東日本大震災以降全てのプロジェクターが使用不能となり、現在は（株）チバミン様のご寄附により復旧された中央スクリーン1台のみで上映しています。映像については現在字幕の追加・新規作成など方法を検討中です。ご不便をおかけいたしておりますが、何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

●学生のみなさんのご感想

主権者教育・見学会などの後に頂いたご感想を紹介します。

政治の歴史的背景や、政治に関わった歴史上の人物をたどることで今の政治につなげることができました。グラフや表、アンケートから日本の若者は政治的な関心・興味、また社会貢献について関心が世界の国々と比べてとても低いことがわかりました。実際、私自身も今の日本の政治について興味・関心は低い方だと感じています。日本の将来について興味がないわけではないのですが、今の日本の政治体制に魅力を感じず、自らが政治に関わろうという気持ちにはなれません。ですが、18歳になり選挙権が与えられる年となったのでこれを機に自分が政治を動かすという考えを持つまではいかずとも、「政治に関わる」という意識を持てればいいなと思います。

（泉館山高2年　瀬戸風花さん）

若者の投票率が減っているのは、少子高齢社会の現代で人口に格差があるため、また、本当にいい政治を見てこなかったために社会に失望して投票の意味を見いだせていないからだと思います。だからといって、投票しなければさらに高齢者に有利な社会になり、さらに少子高齢化が進んで行ってしまいます。そのようにならないためにも私たち若者には政治を監視し、理解し、積極的に参加する責任があると学びました。投票には必ず行きたいと思います。

（泉館山高2年　坂本凜さん）

選挙の仕方などの内容だと思っていたが、選挙に関する歴史から選挙について深く学んだ。質問を自分でも考えながら話を聞いていたが、知っていたものも忘れてしまっていた。もう一度歴史をさらうことができた。またアメリカのハリスの演説の言葉から平等選挙になってから100年してやっと女性の政治活動が活発になってくるということを感じ、平等選挙が当たり前でないことを忘れずに来年選挙を迎えたいと思う。

（泉館山高2年　石原茉凜さん）

日本の高校生が将来にあまり明るいイメージが無いというのが私も分かるような気がします。少子化による年金の負担額や日本の国債返済など、解決しなければいけない問題が残っていて、更に増え続けているというのを聞くと、明るい思考にはなれません。しかし、これから私達が政治に参加することでこれらの問題も改善に向かっていくというのを考えると、選挙権を持ったらきちんと投票しに行きたいと思いました。また、講師の方の話を聞いていて、地域のニュースが何度も話題に挙がりましたが、聞いたことはあっても内容をよく知らないというのがあったので、選挙をするにあたって先ずは地域のニュースから地域の問題を知らなくてはいけないなと思いました。

（泉館山高2年　青木伶依さん）

吉野作造が唱えた民本主義は、日本だけでなく中国にも影響を与えたことを知りました。最初は受け入れてもらえなかった考えを諦めずに世論に発し続けた吉野作造は素晴らしいと思ったし、今の世の中にもしっかり受け止められていると思いました。吉野作造は自国にとらわれず、キリスト教や中国などの様々なことを学んで、民本主義という考えにたどり着いたのだと私は考えました。私も広い視野を持ち、自分のこれからの生き方への参考となるものを見つけていきたいと思います。偉大な人の過去に触れることができ、良かったです。

（古川学園高3年　小川結実さん）

吉野作造の革新的な政治に対する考えがあったからこそ、今日の日本が創りあげられていると感じました。教科書に記載されている内容だけでなく、記念館の資料を実際に見学すると、多くの人たちが大正デモクラシーに関わり、新しい日本の政治を目指していたことが分かりました。また、天皇主権であることを否定しない考え方と国民を平等に政治に参加させる両方のバランスを取れたからこそ、世の中に受け入れられたのではないかと思いました。この校外学習で日本史に対する興味がとても深まりました。

（古川学園高3年　武藏　彩さん）

今回、吉野作造記念館に行って、私の地元である古川で生まれ育った吉野作造について学ぶことができました。記念館の方の話を聞いたり、資料を見学したことで、吉野作造が今の私たちの政治に大きな影響を与えたことを知りました。吉野作造がのこした「常に正しきを求める」という言葉が心に残ったので、これからも大切にしていきたいと考えました。古川第一小学校の後輩として、これからの政治や選挙にたいして関心を持って生活していきたいと思いました。来年には選挙があると聞いたので、自分の頭で誰に投票するか考えたいと思います。

（古川学園高3年　佐々木斗哉さん）

吉野作造記念館を見学してみて、吉野さんの民本主義の考えはどれも国民目線で考えられていて、全て自分だけでなく他者に向けて考えられているものでした。こんな素晴らしい思想を持った偉人が自分たちの地元で生まれたことを今日初めて知りました。吉野さんはとてつもない努力をして思想を広め、多くの苦労を越えて今の民主主義の基本を作り上げてくださいました。一方で本当にやさしい気持ちを持った方なんだなと思いました。自分も吉野さんのように相手を思いやり、自分の意見をはっきり言える人になりたいです。

（古川学園高3年　金野佳希さん）

吉野作造記念館友の会のご案内

令和2年度　吉野作造記念館友の会

2020.04 ～ 2021.03（会員数 29名）

市民大学講座 開催講座数：13講座（石巻バスツアー含む）

コロナ禍のなかご参加いただき、誠にありがとうございました。

フィールドワーク
石巻文化探訪バスツアー　10月14日

復元船サン・ファン・バウティスタ号（2021年3月末に公開終了）を見学し、先人の偉業を学びました。
また、石巻ニューゼ（震災伝承施設）見学では、震災当時の体験談を聞き、復興への思いを新たにしました。
昼食は新鮮な海鮮丼！とても美味しかったです。

友の会事務局

《歴史講座》
7月29日　講師：後藤　彰信　氏
《郷土史講座》
9月27日　講師：後藤　悦雄　氏
《基礎講座》
10月6日・11日（2講座）
講師：佐藤　弘幸　当館学芸員
10月27日・11月1日（2講座）
講師：氏家　仁　当館館長
《生誕記念講演》
1月31日　講師：氏家　仁　当館館長
《企画展関連講座》
2月18日（防災ワークショップ）
講師協力：社会福祉法人大崎市社会福祉協議会古川支所
2月28日　講師：佐藤　大介　氏
3月14・28日（2講座）
講師：後藤　彰信　氏

学芸員体験会　9月10日・12日

友の会会員対象に初めての試みとして、学芸員実習生（大学生）といっしょに資料撮影作業の体験をしていただきました。

2021年度 吉野作造記念館友の会会員（市民大学）募　集　中
身近な施設で学んでみませんか？

〈学生のみなさんのご感想　続き〉

宮城県が生んだ大正デモクラシーの中心的存在、という文脈で吉野作造の事を知ることはありましたが、詳しい思想や生涯については知ることが今までありませんでした。民本主義という考えやそれに至るまでの経緯はそれらをしっかり知っていないと掴めないものだと思います。これからは主権者となる自覚を持ち、社会のことを体系的に学んでいきたいです。

（仙台第三高2年）

大正デモクラシーの先駆者である吉野作造の民本主義の考えを聞いて、現代の私たちへのメッセージでもあるのだと感じた。吉野作造が説いた、「人民のため」で「人民による」政治は果たして現代で行われているのか、改めて自分自身で考え、行動していきたいと思った。来年、選挙権を持つ私たちがどう日本を担い、動かしていくのか選挙を通して伝えていきたいと思う。

（仙台第三高2年）

若者の投票率を上げなければならないと思うのですが、少子高齢化であるので若者の投票率が上がっても全体にしめる割合がひくいので私たちの声が届くのか不安です。もうすぐ18歳になるのでよく調べて投票したいです。

（仙台第三高2年）

記念館からのお知らせ

北都開発様・七十七銀行様よりご寄附
（1月26日）

デスクトップパソコン、ノートパソコン、プロジェクター各1台（計40万円相当）を吉野作造記念館にご寄附いただきました。北都開発の渡辺俊社長は「記念館の主権者教育や志教育に役立ててほしい」とのことでした。

両社に深く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス対策に伴う利用制限等について

吉野作造記念館では令和3年4月1日現在、新型コロナウイルス感染予防のための措置として下記の利用制限を行っています。利用者の皆様におかれましては、何卒ご理解・ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

展示の見学に関して

- お名前・ご連絡先・ご体調などに関する確認書にご記入いただきます。

会場の貸出に関して

- 研修室は最大40名、講座室は15名までとなります。
- 参加者情報の事前提出および当日の体調確認をお願いいたします。定員を超える場合、不特定多数を対象とした内容の場合は貸出不可となります。

※**上記は4月1日現在の対応となります。**最新の状況につきましては当館ウェブサイトをご参照いただくか、当館までお問い合わせください。

2021（令和3）年度　行事案内

4月18日（日）
小峰隆夫氏（第21回読売・吉野作造賞受賞）講演会
「経済政策の歩みを考える－平成経済からコロナ危機まで」
※オンライン講演会となります。

5月5日（水）
こどもの日★ちいさなイベント
・人形劇動画「ケロッキーブーと宝箱」
・アニメ上映
・みんなのメッセージ　など

人形劇「ケロッキーブー」は
YouTube でも
お楽しみいただけます!

吉野作造記念館　利用案内

開館時間　9：00 ～ 17：00（入館は16：30まで）		
	入館料（常設展）	入館料（企画展）
一　　般	320円（260円）	500円（400円）
高　校　生	220円（160円）	300円（200円）
小・中学生	100円（80円）	200円（100円）
※（　）内は20名以上の団体料金		
休　館　日	月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～ 1月3日）、臨時休館日	

吉野作造記念館だより 第29号

2021年4月1日発行
編集・発行　吉野作造記念館
特定非営利活動法人古川学人
〒989-6105　宮城県大崎市古川福沼1－2－3
Tel 0229-23-7100　Fax 0229-23-4979
Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp
https://www.yoshinosakuzou.info/

2020（令和2）年度　YOSHINOサポーター

㈱北都開発　㈱美研　㈱氏家建築設計事務所　古川信用組合　我妻建設㈱　㈱チバミン　㈲千田清掃
内藤印刷㈲　賛育会　㈱佐藤酸素　㈱村田工務所
ツクイ古川　遊山社　㈱池月道の駅　古川ガス㈱　㈲アクセス　（一社）みやぎ大崎観光公社
㈲三塚タイヤ　㈲若見自動車整備工場